

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公表番号】特表 2013-533985 (P2013-533985A)

【公表日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2013-046

【出願番号】特願 2013-518640 (P2013-518640)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 D

G 0 2 B 5/30

C 0 8 J 5/18 C E R

C 0 8 J 5/18 C E Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 24 日 (2015.7.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 4】

前述のように、ゾーン 1 1 6 は、混合層 3 1 1 の少なくとも 1 つの材料又は相が隣接ゾーン 1 1 2 の複屈折性と比べて複屈折性の一部又は全部を失うように、熱の選択的な適用によって処理されており、それにより、ゾーン 1 1 6 は、混合層の異なる層間の界面における光散乱によりもたらされる拡散反射特性を呈し、これはゾーン 1 1 2 の拡散反射特性と異なる。選択的な加熱プロセスは、ゾーン 1 1 6 に対する選択的な圧力の適用を含まないことがあり、これはフィルムに対する厚さの変化を実質的に生じないことがある（パラメーター d_1 / d_1' 又はパラメーター d_2 / d_2' のいずれを使用しても）。例えば、フィルム 1 1 0 は、ゾーン 1 1 6 において、ゾーン 1 1 2 又は非処理のフィルムで観察される厚さの通常の変動を超えない範囲でゾーン 1 1 2 の平均厚さからずれる、平均厚さを呈することがある。したがって、ゾーン 1 1 6 の熱処理の前に、フィルム 1 1 0 は、ゾーン 1 1 2 において、またはゾーン 1 1 2 及びゾーン 1 1 6 の一部を包含するフィルムの領域にわたり、 d の厚さ（ d_1 又は d_2 ）の変動を呈することがあり、ゾーン 1 1 6 はゾーン 1 1 2 の空間的な平均厚さ d_1 、 d_2 に対して、 d を超えない範囲で異なる空間的な平均厚さ d_1' 、 d_2' を（それぞれ）有し得る。パラメーター d は、例えば、厚さ d_1 又は d_2 の空間的分布における、1、2 又は 3 の標準偏差を表し得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学フィルムであって、

異なる第 1 の相及び第 2 の相にそれぞれ分離された第 1 及び第 2 のポリマー材料を含む

混合層であって、第 1 のゾーンから第 2 のゾーンまで延在し、かつ該第 1 及び第 2 のゾーンにおいて実質的に同じ組成及び厚さを有する混合層を含み、

前記第 2 のゾーンの平均厚さの前記第 1 のゾーンの平均厚さからのずれは、前記第 1 のゾーンの厚さの通常の変動を超えない範囲であり、

前記第 1 の相及び第 2 の相の少なくとも一方が連続相であり、該連続相と関連する前記第 1 のポリマー材料及び / 又は第 2 のポリマー材料が、前記第 1 のゾーンにおいて複屈折性であり、

前記第 1 のゾーンにおいて、前記混合層が第 1 の拡散反射特性を有し、

前記第 2 のゾーンにおいて、前記混合層が、前記第 1 の拡散反射特性と異なる第 2 の拡散反射特性を有し、

前記第 1 の拡散反射特性と前記第 2 の拡散反射特性との間の違いが、前記第 1 のゾーンと前記第 2 のゾーンとの間の、前記第 1 のポリマー材料または前記第 2 のポリマー材料の少なくとも一方の複屈折性の違いに実質的に起因し、

垂直入射非偏光可視光の下で、前記第 1 の拡散反射特性と前記第 2 の拡散反射特性との間の差が、少なくとも 10 % である、

光学フィルム。

【請求項 2】

前記第 1 の拡散反射特性及び前記第 2 の拡散反射特性の少なくとも一方が、異なる偏光の垂直入射光に関する実質的に異なる反射率によって特徴付けられる、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 3】

内部パターン化光学フィルムの製造方法であって、

異なる第 1 の相及び第 2 の相にそれぞれ分離された第 1 及び第 2 のポリマー材料を含む混合層を含むフィルムを提供する工程であって、前記混合層が前記フィルムの第 1 及び第 2 のゾーンの両方において第 1 の拡散反射特性を有し、前記第 1 の相及び前記第 2 の相の少なくとも一方が連続相であり、前記連続相と関連する前記第 1 のポリマー材料及び / 又は前記第 2 のポリマー材料が前記第 1 のゾーンにおいて複屈折性である、工程と、

垂直入射非偏光可視光の下で前記第 2 のゾーンが前記第 1 の拡散反射特性と少なくとも 10 % 異なる第 2 の拡散反射特性を呈するのに十分な量で前記第 2 のゾーンの前記フィルムを選択的に加熱する工程であって、前記選択的加熱は、前記混合層の外表面の実質的な改質なしに適用される、工程と、

を含む製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のフィルムを含む物品であって、ID 資料、セキュリティ物品、ディスプレイ、バックライト、及び光電子装置からなる群から選択される、物品。